

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成26年7月15日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区塩小路烏丸西入 東塩小路町6 1 4 番地 新京都センタービル8F		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 京都駅ビル開発株式会社 代表取締役社長 東 憲昭
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	環境マネジメントシステム（KESステップ2-SR、ステップ2-En）	
適用範囲	京都駅ビル、事務所	
導入年月日	2012/6/1	
認証番号	KES2SR-0001、KES2En-0001	
基本方針	<p>京都駅ビル開発株式会社は、「持続可能な発展への貢献を最大化」することが人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて、SR活動及びエネルギーパフォーマンスの向上とともに、環境負荷の低減に努めます。</p> <p>京都駅ビル開発株式会社は、京都駅ビルに関わる全ての活動、製品及びサービスのSR活動及びエネルギーパフォーマンスの向上とともに、環境影響低減のために、次の方針に基づき環境（SR・エネルギー）マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。</p>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>①地域コミュニティへの参画：再生可能エネルギーや緑化等の情報発信 ②環境共生プロジェクトの推進：再生可能エネルギー、緑化等情報発信、情報収集、現地説明会・企画展示、外部との連携 ③京都駅ビル電力使用量の削減：前年電気使用量維持 ④事務所電力使用量の削減：対前年比4%削減 ⑤一般廃棄物発生量の削減：食品廃棄物再資源化率95%維持 ⑥事務用紙使用量の削減：対前年比5%削減</p>	
目標を達成するための取組の内容	<p>①地域コミュニティへの参画：再生可能エネルギーや緑化等の情報発信 ← 修学旅行などで追加9日 ②環境共生プロジェクトの推進：再生可能エネルギー、緑化等情報発信、情報収集、現地説明会・企画展示、外部との連携 ← プロジェクトワーキング会場で推進事項検討 ③京都駅ビル電力使用量の削減：前年電気使用量維持 ← 冷凍機運用変更（流量→熱量制御）への取り組みや氷器熱運用変更 ④事務所電力使用量の削減：対前年比4%削減 ← サーバ取替えて使用量増加のため、大型冷蔵庫を取替えて電力削減を計画 ⑤一般廃棄物発生量の削減：食品廃棄物再資源化率95%維持 ← 再資源化率未達日数を管理し店舗指導をおこなう ⑥事務用紙使用量の削減：対前年比5.0%削減 ← FAXペーパーレス化の推進</p>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>①地域コミュニティへの参画：再生可能エネルギーや緑化等の情報発信 → 達成度累計135.3% ②環境共生プロジェクトの推進：再生可能エネルギー、緑化等情報発信、情報収集、現地説明会・企画展示、外部との連携 → 達成度累計101.2% ③京都駅ビル電力使用量の削減：前年電気使用量維持 → 前年比95.4%削減 ④事務所電力使用量の削減：対前年比4%削減 → 前年比3%削減 ⑤一般廃棄物発生量の削減：食品廃棄物再資源化率95%維持 → 99.0% ⑥事務用紙使用量の削減：対前年比5%削減 → 前年比5.8%削減</p>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>①②③⑤⑥の項目について「A」（100%以上達成）の成果を得た。 ④の項目について「B」（電力削減はサーバ取替え要因を除けば達成度98.9%、個別空調については達成度125.3%）、H26年度計画で再度取組みたい。</p>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法令を調べると共に、調査の結果遵守できていることを確認した。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>①地域コミュニティへの参画 → 周辺環境整備、下京・京都駅サマーフェスタ、地域協議会等参加、施設提供 ②環境共生推進への取組み → 緑化等の情報発信、外部との連携、情報発信 ③京都駅ビル及び別棟駐車場電力使用量の削減 → 京都駅ビル、別棟駐車場共に対前年比1.5%削減 ④事務所電力使用量の削減 → 対前年比1.0%削減 ⑤一般廃棄物再資源化率の向上及び事務所ごみ削減 → 食品廃棄物再資源化率は対前年比維持、ゴミ袋数は対前年比10.0%削減 ⑥事務用紙使用量の削減 → 対前年比維持</p>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。